

むさしのコア投資ファンド(安定型/成長型) [愛称:むさしのラップ・ファンド(安定型/成長型)]

ポートフォリオの見直しについて

今般「むさしのコア投資ファンド(安定型/成長型) [愛称:むさしのラップ・ファンド(安定型/成長型)]」(以下、むさしのラップ)は、現在の市場環境を鑑み、投資対象ファンドの入れ替えを実施し、目標資産配分比率を変更しました。

ポートフォリオの見直しの概要～見直しの背景と変更理由～

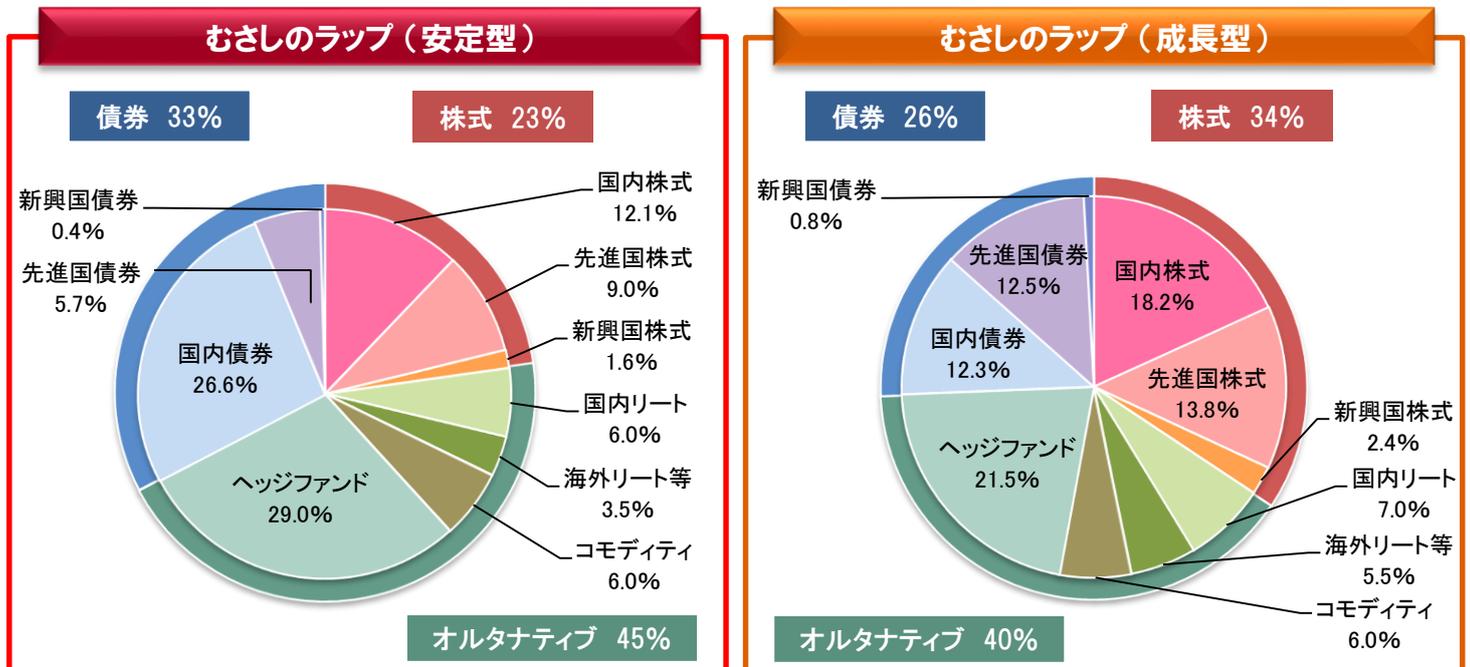
1 国内株式資産および先進国債券資産での投資対象ファンドの入れ替え

国内株式資産において、中長期的に安定して市場ベンチマークを上回るリターン獲得が期待できると判断した「国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)」と、パフォーマンスが国内株式市場に連動する「FOFs用 国内株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)」を新規に組み入れました。また、先進国債券資産においては、中長期的に市場ベンチマークを上回るリターン獲得が期待できると判断した「LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド(適格機関投資家専用)」を新規で組み入れました。

2 株式資産の配分比率引き上げおよびヘッジファンド資産の配分比率を引き下げ

今後の世界経済は、当面は米国をけん引役に堅調な景気拡大基調が続くと想定しています。このような世界経済の拡大が見込まれる中、主要国の金利は緩やかに上昇することが予想され、債券よりも株式への投資が優位な展開になると見えています。こうした市場環境の見通しを踏まえ、株式資産の配分比率を引き上げる一方、相対的に期待リターンが低位となっているヘッジファンド資産の配分比率を引き下げる配分比率の変更を行いました。

変更後の目標資産配分比率 (2018年10月11日現在)



※「安定型」とは元本保証等を意味するものではなく、「成長型」と比較して安定的な運用を目指すことを意味しています。
 ※目標資産配分比率は2018年10月11日時点のものであり、適宜見直しを行います。国内債券(安定型:26.6%、成長型:12.3%)には、国内債券の代替資産としてみなした、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る世界債券ファンド(安定型:10.7%、成長型:4.9%)、バンクローンファンド(安定型:5.3%、成長型:2.5%)、世界物価連動債ファンド(安定型:2.7%、成長型:1.2%)および米国地方債ファンド(安定型:5.3%、成長型:2.5%)の値も含まれます。先進国債券(安定型:5.7%、成長型:12.5%)には、一部を新興国債券に投資するファンド(安定型:1.5%、成長型:3.3%)の値も含まれます。海外リート等(安定型:3.5%、成長型:5.5%)には、MLPファンド(安定型:0.7%、成長型:1.1%)の値を含みます。
 ※配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。
 ※コモディティには実質的に金に投資するファンドも含まれます。

主として国内株式に投資し、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

ファンドの
特色

国内株式に投資

- 主として「アクティブバリュー マザーファンド」への投資を通じて、わが国の取引所に上場されている株式に投資します。
- 長期的な観点からわが国の株式市場全体(東証株価指数(TOPIX))の動きを上回る投資成果の獲得を目指して運用を行います。

徹底した銘柄調査

- ファンダメンタルズ*分析とバリュエーション分析により、割安と判断される銘柄に投資します。

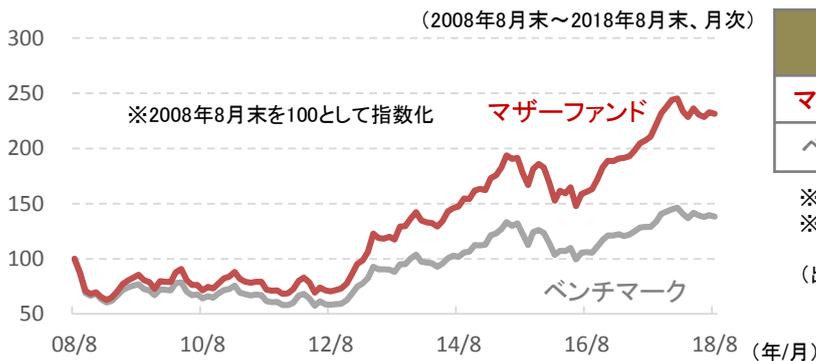
* 利益水準、キャッシュフロー、資産価値などの企業の現在あるいは将来における内在価値をいいます。

運用会社: 日興アセットマネジメント

nikko am

- 日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用やETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

マザーファンドの運用実績



	累積 リターン	リターン (年率)	リスク (年率)
マザーファンド	131.3%	8.7%	19.4%
ベンチマーク	38.3%	3.3%	18.3%

※リスク(標準偏差)・リターンは算出期間の月次騰落率を基に年率換算。
 ※マザーファンドは、「アクティブバリュー マザーファンド」(運用報酬等控除前)。
 ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)。
 (出所)日興アセットマネジメントのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

※上記は「国内株式アクティブバリューフンド(適格機関投資家専用)」のマザーファンドの運用実績であり、「国内株式アクティブバリューフンド(適格機関投資家専用)」の運用実績ではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

主として国内株式に投資し、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。

ファンドの
特色

国内株式に投資

- わが国の取引所に上場されている株式に投資します。
- 東京証券取引所市場第一部に上場されている銘柄に分散投資を行い、東証株価指数(TOPIX)に連動する投資成果を目標として運用を行います。

運用会社: 三井住友トラスト・アセットマネジメント

※東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下、東証)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。

主として日本を除く世界の公社債に投資し、信託財産の中長期的成長を目指します。

ファンドの
特色

世界の様々な債券に投資

- 主として「LM・ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」*1への投資を通じて、日本を除く世界の公社債に投資します。
- ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックス(円換算ベース)を上回る投資成果の獲得を目指して運用を行ないます。

ファンダメンタル・バリューの重視と戦略分散

- 長期的視点に基づいて、本来の投資価値(フェアバリュー)と比べて、現在の市場価格が割安と判断される銘柄に投資します。また、デュレーション、イールドカーブ、セクター配分、銘柄選択、国別配分、通貨戦略などの様々な戦略を通じて超過収益の追求と収益源泉の分散に努めます。

*1「LM・ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」の運用会社であるレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、その運用の指図に関する権限をレグ・メイソン・インク傘下のウエスタン・アセットに委託します。

※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。

実質的な運用会社:ウエスタン・アセット



■ ウエスタン・アセット

ウエスタン・アセットは、1971年に米国で設立された債券運用に特化した世界有数の債券運用専門会社です。運用資産総額は、約4,200億米ドル(約46兆円)*2。

世界各地に運用拠点を展開しており、各拠点は担当地域のマクロ経済や債券市場などの調査、分析を広範に行ない、ポートフォリオ構築において重要な情報は全拠点で共有するなど、充実した運用調査体制を有しています。

■ レグ・メイソン・インク

米国メリーランド州ボルティモアに本部を置き、資産運用サービスを提供する持株会社です。世界各国の中央銀行、国際機関、年金基金など多岐にわたる顧客を対象に、約7,446億米ドル(約82兆円)*2を運用しています。

*2 2018年6月末現在、為替は三菱UFJ銀行の2018年6月末 1米ドル=110.54円にて円換算

類似ファンドの運用実績(米ドルベース)

(2008年8月末~2018年8月末、月次)



	累積 リターン	リターン (年率)	リスク (年率)
類似ファンド	59.2%	4.8%	7.0%
ベンチマーク	31.0%	2.7%	5.7%

※リスク(標準偏差)・リターンは算出期間の月次騰落率を基に年率換算。
 ※類似ファンドは、「グローバル・コア・フルディスクレション・コンポジット」(運用報酬等控除前)。ベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合インデックス。
 (出所)ウエスタン・アセット・マネジメントのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

※上記は「LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド(適格機関投資家専用)」と同様の運用を行うファンドの運用実績であり、「LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド(適格機関投資家専用)」の運用実績ではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ポートフォリオの見直し詳細 (2018年10月11日現在)

	むさしのラップ(安定型)			むさしのラップ(成長型)		
	変更前	変更後	変化	変更前	変更後	変化
株式	20.3%	22.8%	2.5%	32.4%	34.4%	2.0%
国内株式	10.6%	12.1%	1.5%	17.2%	18.2%	1.0%
先進国株式	8.7%	9.0%	0.4%	13.7%	13.8%	0.1%
新興国株式	1.0%	1.6%	0.6%	1.5%	2.4%	0.9%
債券	32.7%	32.7%	—	25.6%	25.6%	—
国内債券	26.6%	26.6%	—	12.3%	12.3%	—
先進国債券	5.7%	5.7%	0.1%	12.4%	12.5%	0.1%
新興国債券	0.4%	0.4%	-0.1%	0.9%	0.8%	-0.1%
オルタナティブ	47.0%	44.5%	-2.5%	42.0%	40.0%	-2.0%
国内リート	6.0%	6.0%	—	7.0%	7.0%	—
海外リート等	3.0%	3.5%	0.5%	5.0%	5.5%	0.5%
コモディティ	6.0%	6.0%	—	6.0%	6.0%	—
ヘッジファンド	32.0%	29.0%	-3.0%	24.0%	21.5%	-2.5%

株式
配分比率引き上げ
[国内、先進国、新興国 ↑]

債券
配分比率変更なし
[先進国 ↑、新興国 ↓]

オルタナティブ
配分比率引き下げ
[海外リート等 ↑、ヘッジファンド ↓]

ファンド名	むさしのラップ(安定型)			むさしのラップ(成長型)			
	変更前	変更後	変化	変更前	変更後	変化	
国内株式	FOFs用JPX日経インデックス400ファンドS (適格機関投資家専用)	6.4%	3.6%	↓ -2.7%	10.3%	5.5%	↓ -4.9%
	FOFs用日本株配当ファンドS (適格機関投資家専用)	1.1%	1.2%	↑ 0.2%	1.7%	1.8%	↑ 0.1%
	FOFs用国内株式エンハンス運用戦略ファンド (適格機関投資家専用)	3.2%	3.6%	↑ 0.5%	5.2%	5.5%	↑ 0.3%
	国内株式アクティブバリューファンド (適格機関投資家専用) 追加	—	1.2%	↑ 1.2%	—	1.8%	↑ 1.8%
	FOFs用 国内株式インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用) 追加	—	2.4%	↑ 2.4%	—	3.6%	↑ 3.6%
先進国株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	8.7%	9.0%	↑ 0.4%	13.7%	13.8%	↑ 0.1%
新興国株式	Wellington Emerging Markets Research Equity Fund Class J	1.0%	1.6%	↑ 0.6%	1.5%	2.4%	↑ 0.9%
先進国債券	FOFs用外国債券インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	4.8%	4.2%	↓ -0.6%	10.4%	9.2%	↓ -1.2%
	LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド (適格機関投資家専用) 追加	—	0.6%	↑ 0.6%	—	1.3%	↑ 1.3%
新興国債券	FOFs用 新興国債券インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	0.4%	0.4%	↓ -0.1%	0.9%	0.8%	↓ -0.1%
海外リート等	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	2.0%	2.8%	↑ 0.8%	3.3%	4.4%	↑ 1.1%
	FOFs用MLPインデックスファンド (適格機関投資家専用)	1.0%	0.7%	↓ -0.3%	1.7%	1.1%	↓ -0.6%
ヘッジファンド	ヘッジファンド・リターン・ターゲットファンド・ 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	8.0%	7.3%	↓ -0.8%	6.0%	5.4%	↓ -0.6%
	Global Absolute Return Strategies Fund - Class DA, H, JPY	3.2%	1.5%	↓ -1.8%	2.4%	1.1%	↓ -1.3%
	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	4.8%	4.6%	↓ -0.2%	3.6%	3.4%	↓ -0.2%
	FOFs用 MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS (適格機関投資家専用)	1.6%	1.5%	↓ -0.2%	1.2%	1.1%	↓ -0.1%
	マルチ・ストラテジー・ファンド (適格機関投資家専用)	1.6%	1.5%	↓ -0.2%	1.2%	1.1%	↓ -0.1%
	Man Numeric Integrated Alpha Market Neutral -Class A	1.6%	1.5%	↓ -0.2%	1.2%	1.1%	↓ -0.1%
	FOFs用米国株式LSファンドS (適格機関投資家専用)	1.6%	1.7%	↑ 0.1%	1.2%	1.3%	↑ 0.1%

※端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。
 ※変化幅が0.05%未満のファンドについては省略しています。
 ※目標資産配分比率および投資対象ファンドの目標配分比率は2018年10月11日時点のものであり、適宜見直しを行います。

◆ポートフォリオ見直し後の投資対象ファンドの目標配分比率

むさしのラップ
(安定型)

むさしのラップ
(成長型)

資産名	投資対象ファンド	比率	比率
国内株式	FOFs用JPX日経インデックス400ファンドS(適格機関投資家専用)	3.6%	5.5%
	FOFs用日本株配当ファンドS(適格機関投資家専用)	1.2%	1.8%
	FOFs用国内株式エンハンス運用戦略ファンド(適格機関投資家専用)	3.6%	5.5%
	国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)	1.2%	1.8%
	FOFs用 国内株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.4%	3.6%
先進国株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	9.0%	13.8%
新興国株式	Wellington Emerging Markets Research Equity Fund Class J	1.6%	2.4%
国内債券	FOFs用日本物価連動国債ファンドS(適格機関投資家専用)	2.7%	1.2%
	FOFs用世界ハイインカム入替戦略ファンドS(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	10.7%	4.9%
	HYFI Loan Fund - JPY-USD クラス	5.3%	2.5%
	FOFs用世界物価連動債ファンドS(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	2.7%	1.2%
	Global Multi Strategy - U.S. Municipal Bond Fund JPY-H Dividend Retail Class	5.3%	2.5%
先進国債券	FOFs用外国債券インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	4.2%	9.2%
	大和住銀/ウェリントン・ワールド・ボンド(適格機関投資家専用)	0.9%	2.0%
	LM・ウエスタン・グローバル債券ファンド(適格機関投資家専用)	0.6%	1.3%
新興国債券	FOFs用 新興国債券インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	0.4%	0.8%
国内リート	FOFs用J-REITインデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	6.0%	7.0%
海外リート等	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.8%	4.4%
	FOFs用MLPインデックスファンド(適格機関投資家専用)	0.7%	1.1%
コモディティ	FOFs用グローバル・コモディティ(米ドル建て)・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%	2.0%
	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	4.0%	4.0%
ヘッジファンド	ヘッジファンド・リターン・ターゲット ファンド・為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	7.3%	5.4%
	Global Absolute Return Strategies Fund - Class D ^{A, H, JPY}	1.5%	1.1%
	FOFs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS(適格機関投資家専用)	3.2%	2.4%
	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund - クラスS-JPY	4.6%	3.4%
	FOFs用 KIM マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	3.2%	2.4%
	FOFs用 ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	3.2%	2.4%
	FOFs用 MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンドS(適格機関投資家専用)	1.5%	1.1%
	マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)	1.5%	1.1%
	Man Numeric Integrated Alpha Market Neutral-Class A	1.5%	1.1%
	FOFs用米国株式LSファンドS(適格機関投資家専用)	1.7%	1.3%

※端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

※投資対象ファンドの目標配分比率は2018年10月11日時点のものであり、適宜見直しを行います。

むさしのコア投資ファンド(安定型)／(成長型)
[愛称:むさしのラップ・ファンド(安定型)／(成長型)]

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品(コモディティ)の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、米国地方債に関する信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分に係るリスク、ヘッジファンドの運用手法に係るリスク、仕組み債券に係るリスク、ブローカーの信用リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	無期限(2016年9月30日設定)
決算日	毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合は、税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
購入単位	1万円以上1円単位 定時定額型(むさしの投信積立サービス)は5,000円以上1,000円単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 (休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。

ファンドの費用

▼お客様が直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入価額に 2.16%(税抜2.0%) の手数料率を乗じて得た額とします。
【換金時】 信託財産留保額	ありません。

▼お客様が間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.55333%~1.86727%程度(税抜1.43827%~1.74472%程度) 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用(年率 1.3608%(税抜1.26%))に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用(年率 0.19253%~0.50647%程度(税抜0.17827%~0.48472%程度))を加えた、お客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬がかかる場合があります。
【保有期間中】 その他の費用・手数料	有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度、監査費用、ファンドが実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等を日々、ファンドが負担します(投資対象ファンドにおいて負担する場合があります。)。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社：ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第443号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：当ファンドの販売会社については次ページ【販売会社一覧】をご覧ください。[ファンドの募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料のお取扱いについては最終ページをご覧ください。

販売会社一覧

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		

【 ご留意事項 】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。